

木造公共建築物 完成見学会

～ 公共建築物の県産木材利用～

平成22年10月に公共建築物木材利用促進法が施行され、滋賀県においても、平成24年2月には県の方針を策定し、学校をはじめ庁舎や集会施設などの低層の公共建築物については、原則として木造化を図ることとなりました。

しかし、今後の公共建築における木材の利用にあたっては、その意義や建築コスト、維持管理や耐久性、耐火性などが懸念されているとともに、地域産の木材の供給や流通のしくみづくりも課題となっています。

については、このような課題解決に向けたモデル的、かつ、先導的なケースとして地域産の木材を利用する本工事について、下記により完成見学会を開催しますのでご参加ください。

日 時： 平成25年 3月14日（木）

10:00～11:00・・・びわこ地球市民の森 森づくりセンター
（守山市水保町3190 裏面の地図参照）

14:00～15:00・・・彦根東高校 特別教室棟
（彦根市金亀町4-7）

- 留意点：**
- ・参加希望者は、下記の申込み先までメールでお申し込み下さい。
 - ・午前のみ参加、午後のみ参加、両方参加の区別を明記願います。
 - ・定員は各50名とし、先着順で受け付けます。
 - ・上履きを各自で持参して下さい。
 - ・守山(裏面地図)、彦根の会場にそれぞれ現地集合、解散になります。
 - ・びわこ地球市民の森は駐車場があります。
 - ・彦根東高校は駐車場がありません。
- 生徒の安全確保のため、車での校地内進入はご遠慮ください。

申込み先： 滋賀県土木交通部建築課 建築営繕担当 清水
E-mail shimizu-yasuharu@pref.shiga.lg.jp
TEL 077-528-4252

締め切り： 3月11日（月）



彦根東高校 特別教室棟 音楽室



びわこ地球市民の森 森づくりセンター 外観パース

彦根東高に木造校舎

県立で49年ぶり

県立高校で四十九年ぶりに、県立彦根東高(彦根市)に県産材を使った木造校舎が二〇一二年度にお目見えする。耐震強度の基準を満たす構造にし、県産材を使うことで林業の活性化を目指す。

(木原百子)

県立高校で四十九年ぶりに、県立彦根東高(彦根市)に県産材を使った木造校舎が二〇一二年度にお目見えする。耐震強度の基準を満たす構造にし、県産材を使うことで林業の活性化を目指す。

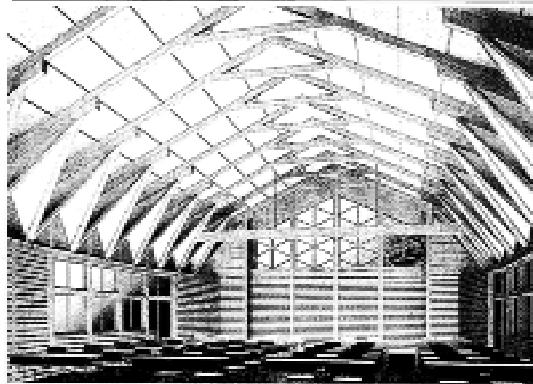
県産材で特別教室棟

この木造校舎は特別教室棟で、平屋建て、八道幅などの耐震改修は百七十平方メートル。二〇二二、二〇二四年に入ると、柱や梁に県産材の活用が期待される。

第一、第二本館や武蔵野などの耐震改修は、二〇二二、二〇二四年に入ると、柱や梁に県産材の活用が期待される。

耐震化率は72・3％。二一校百八十一棟が未着手だが、本年度中に彦根東高と米町高で耐震化し、守山、水口両高で設計を始める。

鉄筋コンクリート製の第一本館棟と第二本館棟を耐震化すると、窓を壁などに替える必要があり、教室が不足するため、調理室や音楽室などをまとめる形で、特別教室棟を新たに建設する。本年度に第一本館やプールなどを取り壊す作業をし、来年度に着工する。



県立高校として49年ぶりの木造校舎となる県立彦根東高の特別教室棟の完成予想図



びわこ地球市民の森 森づくりセンター 位置図